

第22回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成22年2月

応募者名：鳥取県県土整備部

事業の名称：街路宮下十六本松線整備事業

実施都市名：鳥取県鳥取市

事業目的

当路線は鳥取市の中心市街地を取り囲む半環状の主要幹線道路であり、その一部は地域高規格道路鳥取環状道路の整備区間に指定されている。

当事業で交差点を立体交差化することで主要交差点での渋滞緩和を図るとともに、市街地中心部の通過交通を適切に分散させ、周辺道路の渋滞緩和による環境改善と都市活動の活性化を目的とする。

事業概要

事業名：街路宮下十六本松線整備事業

路線名：鳥取都市計画道路3・4・8号宮下十六本松線

事業箇所：鳥取市天神町～鳥取市秋里

事業延長：L=3.8km

幅員：本線W=17.0m

（車道3.5m×4車線、路肩0.5m×2、分離帯2.0m）

副道W=11.5m

（車道3.0m×2車線、路肩0.5m×2、歩道4.5m×1）

総事業費：約397億円

事業期間：昭和63年度～平成20年度

本事業は、地域高規格道路として本線4車線に拡幅するとともに、交差する道路及びJR部分の立体交差化を行った。

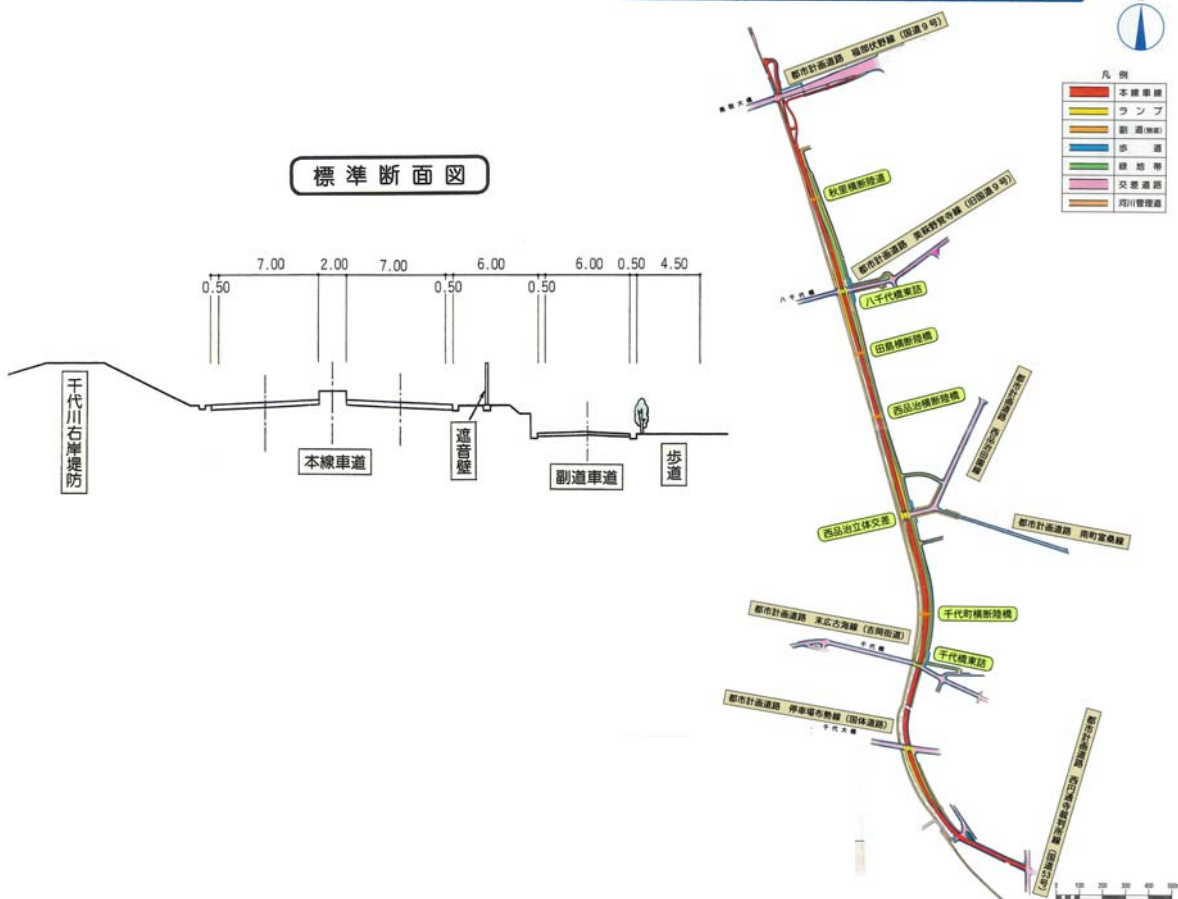
併せて2車線と歩道を有する副道を整備し、生活道路網の充実を行った。

事業位置図



全体図(平面図・側面図・横断面図)

鳥取都市計画道路3・4・8号宮下十六本松線概略平面図



宮下十六本松線の整備効果アピール資料

○事業概要

事業名: 街路宮下十六本松線整備事業

路線名: 鳥取都市計画道路3・4・8号宮下十六本松線

事業箇所: 鳥取市天神町～鳥取市秋里

事業延長: L=3.8km

幅員: 本線W=17.0m(車道3.5m×4車線、路肩0.5m×2、分離帯2.0m)

副道W=11.5m(車道3.0m×2車線、路肩0.5m×2、歩道4.5m×1)

総事業費: 約400億円

事業期間: 昭和63年度～平成20年度

○交通量調査結果

供用前 平成17年10月実測

供用後 平成21年9月実測

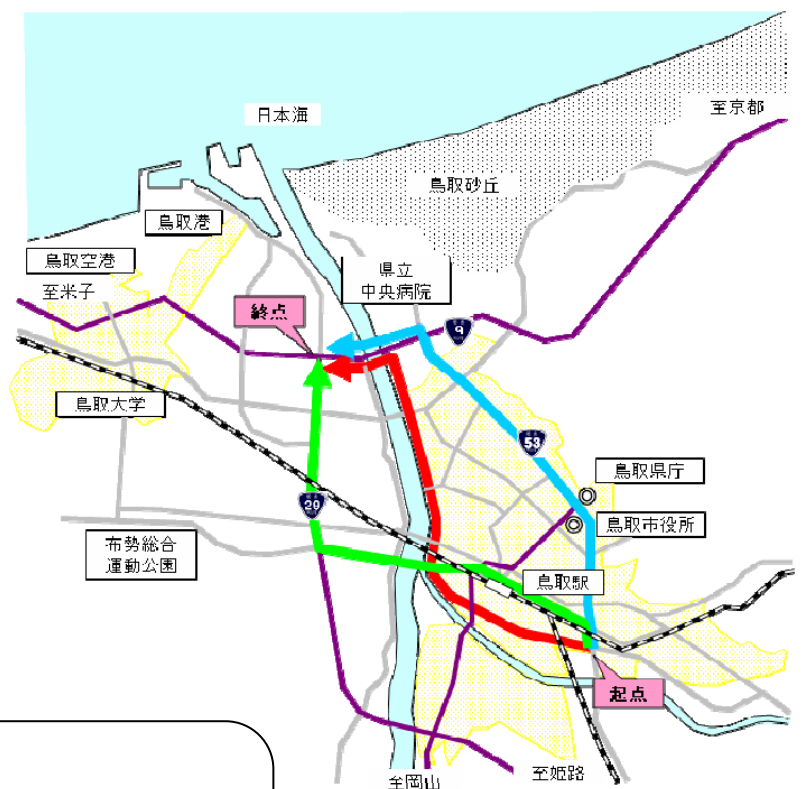
・交通量の推移

供用前 約8,800台/日

→供用後 約24,500台/日

約2.8倍の増加

周辺道路から当該道路へ交通が転換



○整備効果(定量的)

・所要時間短縮の一例

鳥取市吉方(産業道路交差点)～鳥取市南隈(南隈交差点)

当該路線: 供用前約25分→供用後約15分(約10分短縮)

国道53号経由: 供用前約22分→供用後約15分(約7分短縮)

国道29号経由: 供用前約23分→供用後約17分(約6分短縮)

○整備効果(定性的)

・国道53号と国道9号を結ぶ道路ネットワークの形成、JR鳥取駅へのアクセス向上

・鳥取市中心市街地の慢性的な渋滞緩和

・第3次緊急救急施設鳥取県立中央病院へのアクセス向上

・副道整備による生活道路網の整備

・排水性舗装による騒音の低減

事業前写真

平成20年3月撮影



南側から八千代橋東詰を望む

平成16年3月撮影



南側から千代大橋東詰を望む

平成16年3月撮影



北側から千代橋東詰を望む

事業後写真

平成21年3月撮影



平成21年9月撮影



南側から八千代橋東詰を望む

平成21年9月撮影

平成21年9月撮影



南側から千代大橋東詰を望む



北側から千代橋東詰を望む